

パーソナル  ディスカバリー

*Take*

*Different* 

メンタルチェック-心持ち report ver.1.12

精神状態判定結果



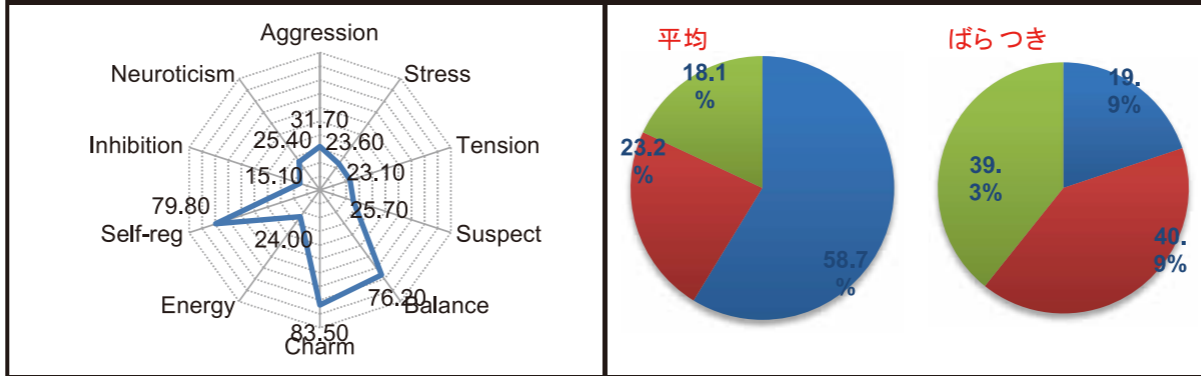
名前	0	ID	
性別		日付	
年齢		ΣVi	14.81

10の評価要素からの判定結果

評価要素	最小	平均	最大	Vi	評価要素	最小	平均	最大	Vi
Aggression (20~50)	19.7	31.7	40.3	12.7	Stress (20~40)	16.3	23.6	25.5	10.5
Tension (15~40)	4.3	23.1	45.4	36.7	Suspect (20~50)	15.2	25.7	32.6	15.4
Balance (50~100)	39.7	76.2	85.3	15.7	Charm (40~100)	81.4	83.5	89.0	1.9
Energy (10~40)	15.9	24	26.8	11.5	Self-reg (50~100)	62.3	79.8	87.0	7.5
Inhibition (10~25)	12.0	15.1	24.1	16.9	Neuroticism (10~50)	0.0	25.4	31.9	19.3

評価要素チャート

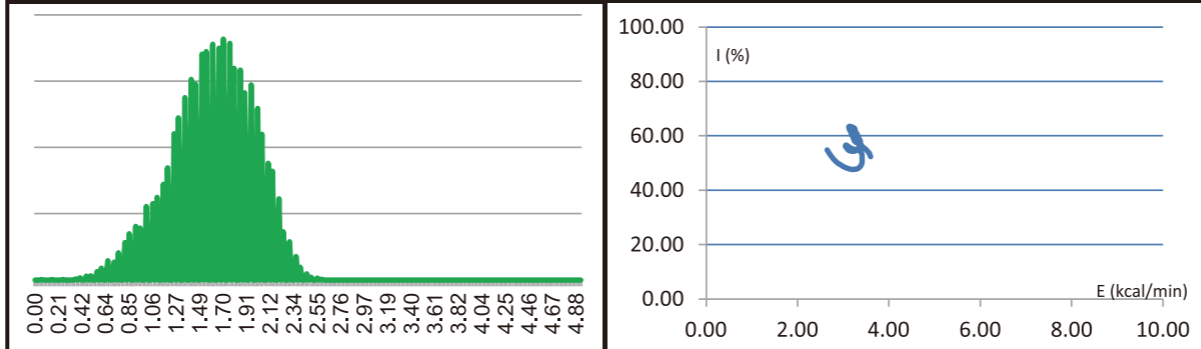
感情分布チャート



周波数のヒストグラム

精神的流動性- 精神的基礎代謝

M f	1.601	S	0.373	精神変化率	47.6-63.4	Kcal/min	2.6-3.6
-----	-------	---	-------	-------	-----------	----------	---------



外向性	70.3	情緒安定性	59.4
-----	------	-------	------

コメント

パーソナル  ディスカバリー

*Take*

*Different*

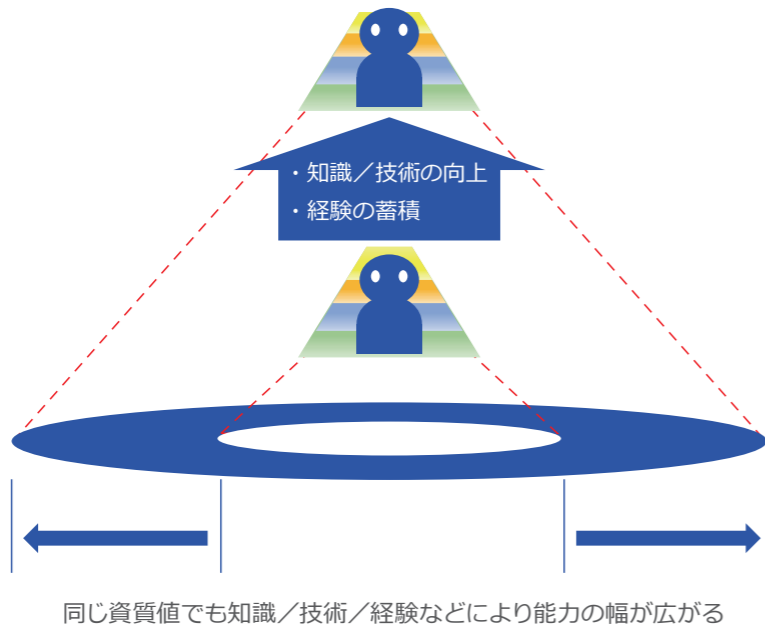


行動特性-心根 report ver.1.12

## report

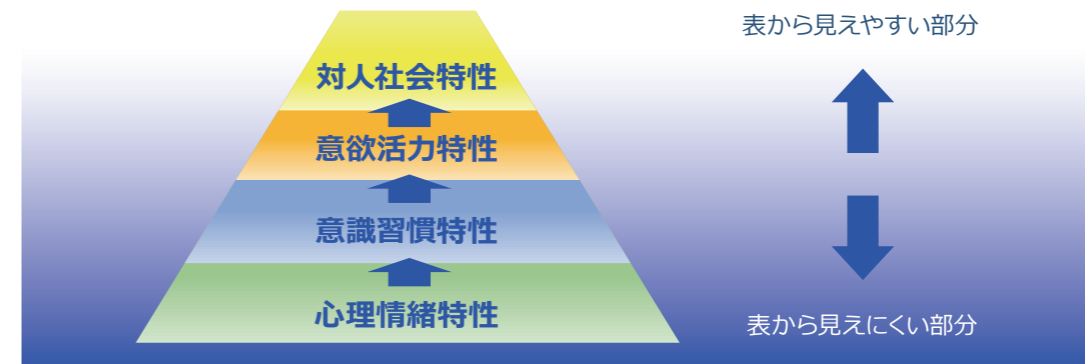
本レポートは、受検者個人の、行動変革に関わる基本特性／モチベーション特性／ストレス特性等の要素を分析したものです。

## 資質と能力



- たとえ同じ資質値を持っている人でも、
  - ・学んだ知識や習得した技術
  - ・経験の豊富さなどは人ごとに異なります。そしてこれらの違いが、その人の『能力』の差となります。
- 受検者の『能力』を測るものではありません。  
受検者の『行動特性』をもとに、『資質』を見える化しています。

## 行動特性の4段階



- 人の行動特性を4つの段階に分けて分析しています。  
図の下に近いほど表から見えにくく、比較的变化しにくい部分を示しており、段階が上がるごとに下の部分を土台として行動特性が形作られ、図の上に近づくほど表から見えやすく、比較的变化しやすい特性を示しています。

### [ 対人社会特性 ]

他の人や組織・社会への接し方に関わる特性を2対4要素で表しています。

### [ 意欲活力特性 ]

その人の意欲や活力に関わる特性を2対4要素で表しています。

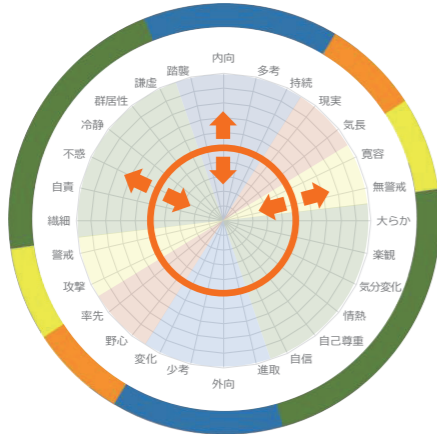
### [ 意識習慣特性 ]

その人の意識や習慣に関わる特性を4対8要素で表しています。

### [ 心理情緒特性 ]

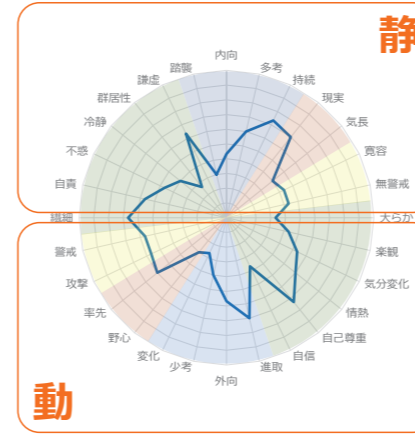
最も根底にある部分で、人の感情や情緒に関わる特性を6対12要素で表しています。

## グラフの見方



- 対人社会特性
- 意識習慣特性
- 意欲活力特性
- 心理情緒特性

- あらかじめ14対28要素を1対あたり10ポイントとなるようにスコア化しています。
- 対となる基本要素の割合を対角線上に配置しています。
- グラフが外側に伸びているほどその傾向が強いことを示し、中心に近いほど弱いことを示します。
- 中間に位置している場合は、バランスが取れていることを示します。



- 対となる基本要素を「静」「動」に分けています。円グラフの上半分に「静」、下半分に「動」の要素を配置しています。
- 「動」の要素はどちらかというと、エネルギーにあふれ、アクティブで元気のいい印象を与える基本要素です。じっとしているよりも自ら動くことによる周囲の反応や変化からいろいろな判断を得ようとする傾向があります。
- 「静」の要素はどちらかというと、控えておだやか、やさしい印象を与える基本要素です。

## 基本要素の見方

各特性ごとの特徴が、■ **強み**としてあらわれた場合

■ **弱み**としてあらわれた場合の、行動として出やすい特徴を示しています

上から傾向が強い順に並べています

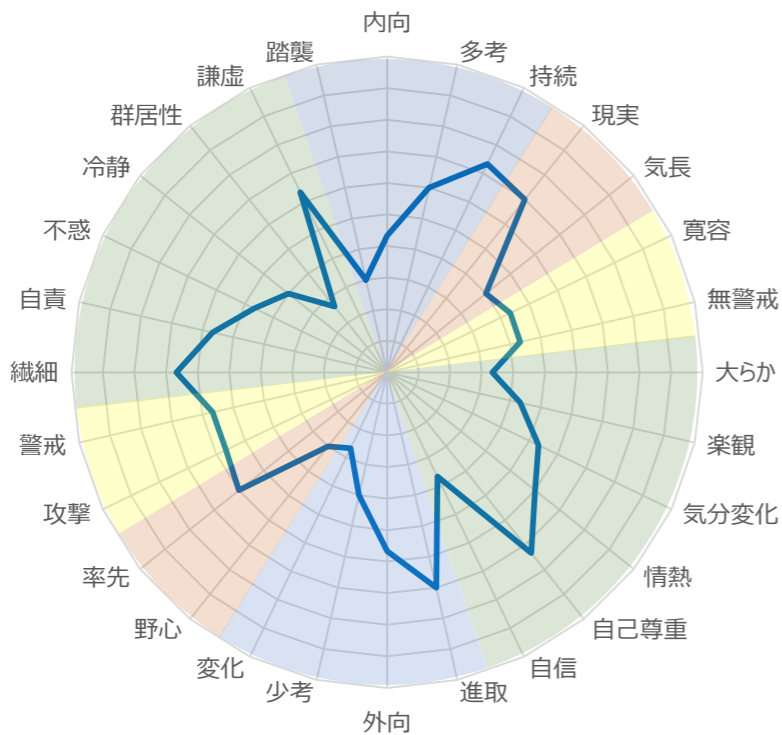
特徴的な基本要素	強み	弱み
自己尊重 4.66	常識的な考え方にとらわれない 自分の考えや視点を大切にする	他人の意見を受け入れない 他人の話を聞かない 融通がきかない
変化 4.66	簡単にはあきらめない 粘り強い	物事にこだわらぬ 融通がきかない
進取 4.00	失敗を恐れない 新しいことに挑戦する	不用意に危険なことをする 新しいことを試して失敗する
現実 4.00	争うことが嫌い 努力の過程を大切にする	目的意識が低く見える 安易に流されやすい
繊細 3.34	他人の気持ちを思いやれる 感受性が強い	些細なことを気にする 情緒が不安定
謙虚 2.66	真面目でやさしい 自分を過信しない 謙虚	自分の意見を主張できない 自虐的になりやすい 弱気
情熱 2.00	明るい 他人を楽しくさせる 自分から積極的に働きかける	興奮して熱くなる 場違いにはしゃぐ うわの空になりやすい
多考 2.00	物事を深く考える 思慮深い 仕事のやりこほしがいい	考えすぎて反応が遅い 行動する前に考えこむ 準備不足だと不安に
率先 2.00	決断が速く行動が機敏 手際が良い	強引 自分勝手 自己主張が強すぎる
自責 1.34	責任感が強い 真面目で他者に対して寛容	自分を過小評価する 悲観的
外向 1.34	対人接触面で社交性が高い 交際範囲が広い	なれなれしい 軽薄な印象を与える
攻撃 1.34	問題意識が強い 言うべきことを言う	寛容さに欠ける 意地が悪い 強情
警戒 1.34	警戒心が強い 人や物事に対して客観的	冷たい印象を与える 心が見えない 人の話を聴きみにくい
気分変化 0.66	感情豊かで感情の表現が素直 自分の気持ちに嘘をつかない	すぐに気が変わる 意見が定まらない 話がコロコロ変わる

行動特性の4段階を色で表しています

- 人の行動特性を14対・28個の尺度で分析した受検者の行動特性の基本要素を、傾向が強い順に上から並べたものです。
- それぞれの特徴が『強み』として出てきた場合、『弱み』として出てきた場合の行動特徴が書かれています。人の性格の構成要素には、『良い悪い』はありません。その特性を周りがどう評価するかの違いがあるだけです。同じ基本要素でも、強みとして捉えられる場合と弱みとして捉えられる場合があります。つまり本人が強みとして出したつもりが、大きな弱みとして評価される場合があります。

受検日		氏名		年齢		性別		*		*
-----	--	----	--	----	--	----	--	---	--	---

## ■ ビノグラム ～行動変容に関わる基本要素～



心理情緒特性 心や感情、情緒に関する行動特性を表しています				
織細	6.67	大らか	3.33	細やかで織細なタイプか、おおざっぱなタイプか
自責	5.67	楽観	4.33	責任感があるが悲観的か、楽観的だが責任感が薄い
不惑	4.67	気分変化	5.33	気分が波がないほうか、気分がコロコロ変化するほうか
冷静	4.00	情熱	6.00	クールで冷静なほうか、明るく情熱的なほうか
群居性	2.67	自己尊重	7.33	仲間といることを好むか、自分だけであることを好むか
謙虚	6.33	自信	3.67	謙虚で過信しないほうか、自信とプライドに満ちているほうか
意識習慣特性 意識や習慣に関する行動特性を表しています				
踏襲	3.00	進取	7.00	今まで通りのやり方を好むほうか、新しいものを好むほうか
内向	4.33	外向	5.67	人間関係がせまく深いほうか、人間関係が広く浅いほうか
多考	6.00	少考	4.00	思慮深く慎重なほうか、あまり考えず思い切りが良いほうか
持続	7.33	変化	2.67	物事にこだわり簡単に諦めないほうか、あっさりとして柔軟なほうか
意欲活力特性 意欲や活力に関する行動特性を表しています				
現実	7.00	野心	3.00	欲がなく現実を受けとめるほうか、大きな夢や目標を掲げるほうか
気長	4.00	率先	6.00	のんびり悠然としているか、率先してテキパキとこなしていくほうか
対人社会特性 人や社会に対する行動特性を表しています				
寛容	4.33	攻撃	5.67	人にやさしく寛容なほうか、言うべきことを言うほうか
無警戒	4.33	警戒	5.67	人や物事を信じやすく無警戒なほうか、警戒心が強いほうか

## ■ 特徴的な基本要素 ～偏りの強い順～

特徴的な基本要素		強み		弱み	
群居性	自己尊重	自己尊重	4.66	常識的な考え方にとらわれない 自分の考えや視点を大切に	他人の意見を受け入れない 他人の話を聞かない 融通がきかない
持続	変化	持続	4.66	簡単にはあきらめない 粘り強い	物事にこだわる 融通がきかない
踏襲	進取	進取	4.00	失敗を恐れない 新しいことに挑戦する	不用意に危険なことをする 新しいことを試して失敗する
現実	野心	現実	4.00	争うことが嫌い 努力の過程を大切に	目的意識が低く見える 安易に流されやすい
織細	大らか	織細	3.34	他人の気持ちを思いやれる 感受性が強い	些細なことを気にする 情緒が不安定
謙虚	自信	謙虚	2.66	真面目でやさしい 自分を過信しない 謙虚	自分の意見を主張できない 自虐的になりやすい 弱気
冷静	情熱	情熱	2.00	明るい 他人を楽しませる 自分から積極的に働きかける	興奮して熱くなる 場違いにはしゃぐ うわの空になりやすい
多考	少考	多考	2.00	物事を深く考える 思慮深い 仕事のやりこほしが無い	考えすぎて反応が遅い 行動する前に考えこむ 準備不足だと不安になる
気長	率先	率先	2.00	決断が速く行動が機敏 手際が良い	強引 自分勝手 自己主張が強すぎる
自責	楽観	自責	1.34	責任感が強い 真面目で他者に対して寛容	自分を過小評価する 悲観的
内向	外向	外向	1.34	対人接触面で社交性が高い 交際範囲が広い	なれなれしい 軽薄な印象を与える
寛容	攻撃	攻撃	1.34	問題意識が強い 言うべきことを言える	寛容さに欠ける 意地が悪い 強情
無警戒	警戒	警戒	1.34	警戒心が強い 人や物事に対して客観的	冷たい印象を与える 心が見えない 人の話を鵜呑みにしない
不惑	気分変化	気分変化	0.66	感情豊かで感情の表現が素直 自分の気持ちに嘘をつかない	すぐに気が変わる 意見が定まらない 話がコロコロ変わる

パーソナル  ディスカバリー

*Take*

*Different* 

モチベーション特性 / ストレス特性 report ver.1.12

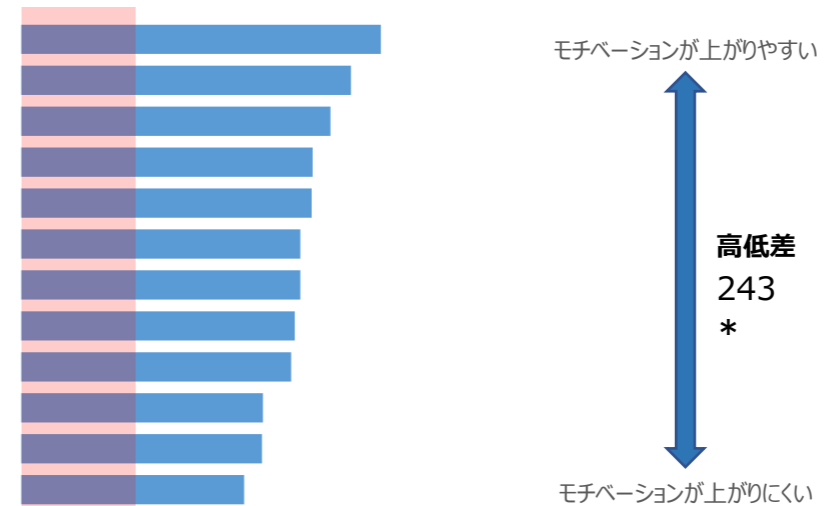
受検日		氏名		年齢		性別		*		*
-----	--	----	--	----	--	----	--	---	--	---

## ■ モチベーション特性

- モチベーション特性は、受検者がどのような条件でモチベーションが上がりやすいかを数値で表したものです。『能力が高い／能力が低い』を表したものではありません。
- モチベーションの種類には『内発的(自己との関わり)』と『外発的(他者との関わり)』という2つの視点があります。
- モチベーションには、長期的に有効な『快樂追求』と、瞬間的に有効な『不快回避』の2面があります。
- それぞれのモチベーションは通常は快樂追求として発揮されますが、不快回避として発揮される場合もあります。

モチベーションの種類		モチベーション値	快樂追求 (こうなりたから頑張る)	不快回避 (こうなりたくないから頑張る)
勝利・勝負	内発的	497	勝つことで自分がうれしい、達成感がある	他者に負けたくらい
	外発的	397	勝つことでほめられる	負けたら周りから非難される
人間関係	内発的	587	自分の判断で自由にできる	他人に干渉されないようにやりたい
	外発的	430	みんなと一緒に仲良くなる	仲間外れになりたくない
チームワーク	内発的	517	自分がチームに貢献している	チームの足を引っ張る自分が許せない
	外発的	480	皆で助け合っている	まわりから足を引っ張ったと思われたくない
支配/服従	内発的	497	自分が皆を引っ張っている	リーダーとして馬鹿にされたくない
	外発的	487	尊敬する人、決めてくれる人に従っている	リーダーに怒られたくない
完璧さ	内発的	640	自分が納得できる完璧なものを作る、完璧に成しとげる	自分が中途半端でありたくない
	外発的	550	完璧にすることで人にほめられる	中途半端にして人に非難されたくない
楽しさ	内発的	518	自分が楽しんでいる	自分の楽しみを邪魔されたくない
	外発的	428	みんなと一緒に楽しむ、楽しませてもらう	皆をしらけさせたくない

完璧さ	内発的	多考・持続・自己尊重・繊細・自責・自信	640
人間関係	内発的	自己尊重・自信・多考・野心・攻撃	587
完璧さ	外発的	多考・持続・群居性・繊細・自責・寛容・謙虚	550
楽しさ	内発的	大らか・楽観・気分変化・情熱・自己尊重・外向	518
チームワーク	内発的	自己尊重・自信・野心・率先・無警戒	517
勝利・勝負	内発的	情熱・自信・野心・攻撃・外向・自己尊重	497
支配/服従	内発的	自信・野心・外向・攻撃・率先・情熱・自己尊重	497
支配/服従	外発的	群居性・謙虚・現実・気長・寛容・無警戒	487
チームワーク	外発的	群居性・謙虚・寛容・無警戒・自責・現実	480
人間関係	外発的	無警戒・群居性・外向・寛容・不惑	430
楽しさ	外発的	大らか・楽観・気分変化・情熱・群居性・寛容	428
勝利・勝負	外発的	寛容・群居性・踏襲・現実・無警戒	397



- \*\*\*モチベーション値の高低差が大きい：モチベーションを強く感じる場面とモチベーションが低下する場面の差が激しい。気分屋と見られる場合もあり。
- \*\*モチベーション値の高低差が標準的：モチベーションの高低差が標準的。『感じやすい』モチベーションの種類を正しく理解して対応することが有効。
- \*モチベーション値の高低差が小さい：モチベーションの感じ方の差が少ない。あらゆる場面で同等のモチベーションを感じているとも言える。反応が薄いと見られる場合もあり。



受検日		氏名		年齢		性別		*		*
-----	--	----	--	----	--	----	--	---	--	---

## ■ ストレス特性

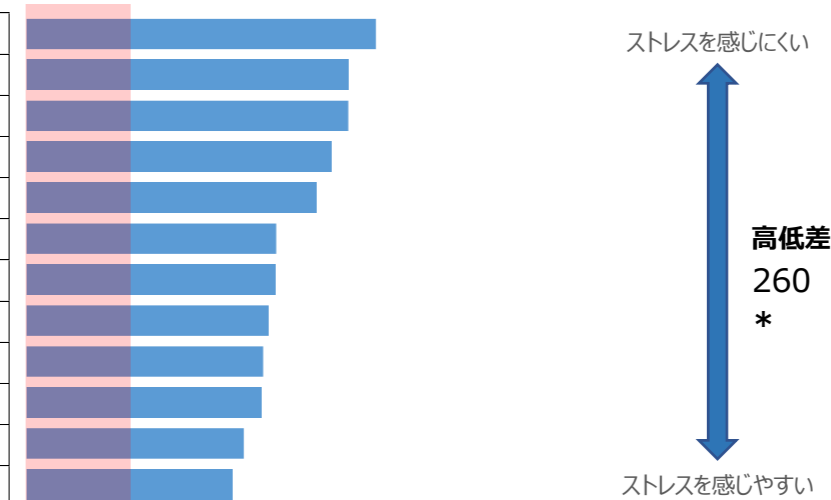
- ストレス耐性値の高低は、『どのような状況でストレスを感じにくい』を示したもので、その項目について『能力が高い／能力が低い』を表したものではありません。
- ストレス耐性値が低い項目であっても高い成果を上げることができますが、内面ではストレスを感じている可能性があります。

ストレスの種類				耐性値
対周囲	発動	人に指示をする	グループのリーダーとなってメンバーに指示を出したり、集団のまとめ役となることを求められる場合	448
対周囲	抑制	人からの指示を受ける	目上の人や他のメンバーなど、他者からの指示に忠実に従うことを求められる場合	437
対周囲	発動	自分自身で判断をする	他の人からの指示を受けるのではなく、自主的、自律的な判断が求められる場合	550
対周囲	抑制	協調が求められる	他の人たちと交流し、関わり合う中で、相手を信じ、お互いを尊重しあうことが求められる場合	450
対周囲	発動	厳しい目標や競争	仲間同士や外部の人たちと激しく競い合い、高い目標を目指すことが求められる場合	392
対周囲	抑制	周囲との衝突を避ける	他の人と衝突せず、相手を許し、譲り合い、おだやかであることが求められる場合	522
対自己	発動	前例がない事への挑戦	今までに誰もやったことがない、新しいことへ挑戦が求められる場合	580
対自己	抑制	マニュアル通りに進める	過去に実績のある確実な方法で、冒険をせず安全着実に実行することが求められる場合	423
対自己	発動	即断即決が求められる	判断に時間をかけず、常に瞬時に決断することが求められる場合	427
対自己	抑制	思慮深さが求められる	時間をかけてもいいので、物事の背景や原因等を深くしっかり考えることが求められる場合	630
対自己	発動	成果を求められる	努力や過程よりも、とにかく結果を出すことが求められる場合	370
対自己	抑制	努力を求められる	結果がすぐに出なくても構わないので、常日頃からのコツコツと地道な努力が求められる場合	580

**< ストレス耐性値の見方 >**

- ストレスに対する『感じにくさ』を、1000点満点で表しています。
- 数字が大きいほどその項目に対するストレスを感じにくく、数字が小さい程ストレスを感じやすい傾向を表します。

対自己	抑制	思慮深さが求められる	多考・持続・自責・繊細	630
対自己	発動	前例がない事への挑戦	進取・大らか・楽観・自己尊重・自信	580
対自己	抑制	努力を求められる	謙虚・持続・現実・気長・寛容	580
対周囲	発動	自分自身で判断をする	自己尊重・自信・多考・野心・攻撃	550
対周囲	抑制	周囲との衝突を避ける	謙虚・寛容・現実・気長	522
対周囲	抑制	協調が求められる	寛容・無警戒・群居性・外向・謙虚・不惑	450
対周囲	発動	人に指示をする	自信・野心・攻撃・自己尊重・外向	448
対周囲	抑制	人からの指示を受ける	群居性・謙虚・寛容・踏襲・無警戒・現実	437
対自己	発動	即断即決が求められる	率先・変化・少考・自信・大らか・楽観	427
対自己	抑制	マニュアル通りに進める	群居性・踏襲・繊細・自責・多考・現実	423
対周囲	発動	厳しい目標や競争	自信・大らか・楽観・野心・攻撃	392
対自己	発動	成果を求められる	自信・楽観・変化・野心・率先	370



- \*\*\* ストレス耐性値の高低差が大きい : ストレスを強く感じる場合と感じない場合の差が激しい。『感じにくい』ストレスには極めて強いが、『感じやすい』ストレスには極めて影響を受けやすい。
- \*\* ストレス耐性値の高低差が標準的 : ストレス耐性の高低差が標準的。『感じやすい』ストレスの種類を正しく理解して対応することが有効。
- \* ストレス耐性値の高低差が小さい : ストレスの感じ方にムラがないほうである。ただしどの種類にも小さなストレスを感じている可能性があり、『感じにくい』ストレスにも留意が必要。